

注 意 事 項

1 受付について

- (1) 競技場開場時間は各日 7 : 00 とする。
- (2) 各校引率教員は、競技開始 30 分前までに受付をすること。(教員の受付がないとき、生徒は競技に出場できない)。また、受付は各日毎に行わなければならない。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は 100m ゴール後方に設ける。
- (2) 招集時間は次の通り。

トラック競技	競技開始時刻の 40 分前から始め、20 分前に完了
フィールド競技 (棒高跳を除く)	競技開始時刻の 50 分前から始め、30 分前に完了
棒高跳	競技開始時刻の 90 分前から始め、60 分前に完了

- (3) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

4 リレー競技のオーダー用紙提出の時刻について

	男子	女子
4 × 100mR 予選	8 : 50 まで	8 : 40 まで
4 × 100mR 決勝	15 : 15 まで	15 : 10 まで
4 × 400mR 予選	8 : 55 まで	8 : 40 まで
4 × 400mR 決勝	14 : 10 まで	14 : 00 まで

- (1) 上記時刻までに記録室に提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意する。
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。競技終了後は速やかに返却すること。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。ただし、投擲器具については検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

8 競技について

検定時間	8:10～8:25
検査場所	南側器具庫前

- (1) 使用する

シューズについては、競技規則TR5.2を適用する。競技に使用するシューズが適用するかは、各自で、「ワールドアスレティックス承認シューズリスト」
<https://certcheck.worldathletics.org/> 上で使用が承認されているかを事前に確認すること。規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。



- (2) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは7mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各校ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (3) **選手及び学校関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。**撮影については16項を参照のこと。
- (4) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- (5) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (6) 長距離競技の給水は主催者が用意する。補助員は配置しないので、選手への給水は所属校で対応すること。
- (7) フィールド競技は、すべて計測する。
- (8) 棒高跳については、天候不良の（予想される）場合、競技日時を変更することもある。
- (9) 男女走幅跳は2ピットで行う。三段跳の踏切板は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。

<バーの上げ方>

(男子)	走高跳	練習 (1m45 1m80)
		1m50, 1m55, 1m60, 1m65, 1m70, 1m75, 1m80, 1m85, 1m88 (以降3cmずつ)
	棒高跳	練習 (3m00 3m60 4m00)
		2m80, 3m00, 3m20, 3m40, 3m60, 3m70 (以降10cmずつ)
(女子)	走高跳	練習 (1m25 1m45)
		1m30, 1m35, 1m40, 1m45, 1m50, 1m55, 1m58 (以降3cmずつ)
	棒高跳	練習 (1m60 2m20)
		1m80, 2m00, 2m20, 2m30 . . (以降10cmずつ)

9 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝・決勝進出者の発表はアナウンスおよび記録速報（東三河陸上競技協会HP）で行う。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは、抽選とする。その他の同記録の場合も同様とする。

10 各競技の得点について

- (1) 1位6点、2位5点・・・6位1点とする。

11 表彰および県大会への出場権について

- (1) 男女総合は6位まで表彰する。
- (2) 男女トラックの部、フィールドの部は3位まで表彰する。
- (3) 各競技3位までの入賞者は賞状を授与する。
- (4) 賞状の授与は顧問にまとめて行う。
- (5) 各競技6位までの入賞者は、大会開催中に各行引率教員を通じ、県大会出場の手続きを本部で行うこと。ただし、走高跳・棒高跳は6位6名以内とする。シード選手が入賞した場合は7位以下の選手が出場権を得る場合があるので注意すること。
- (6) 県大会出場9番目の選手は、タイムレース決勝種目においては、9番目の記録の選手とし、ラウンドのある種目においては、決勝の一つ前のラウンドで決勝に出場していない選手の中で一番記録の良い選手とする。
- (7) 男女棒高跳、男女ハンマー投、男女5000mWにおいて、下記の記録をクリアしていない選手は、県大会への出場権を得ることができない。なお、競歩については下記の時間で競技を打ち切る。
- (8) 男女ハンマー投において、6位以内であるが県大会出場標準記録を突破できなかった選手に対して、標準記録突破挑戦のための追加の3回の試技を行うことができる。

男子	棒高跳	2m80 以上
男子	ハンマー投	35m以上
男子	5000mW	28 分以内（打切時間 31 分）
女子	棒高跳	2m00 以上
女子	ハンマー投	25m以上
女子	5000mW	33 分以内（打切時間 36 分）

12 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。

13 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技場全面を練習として使

用できるのは競技会開始時刻の 20 分前までとする。

(2) 本競技会に参加していない生徒の競技場内での練習は一切認めない。

(3) 雨天走路については下の図の通り、安全に留意して使用すること。

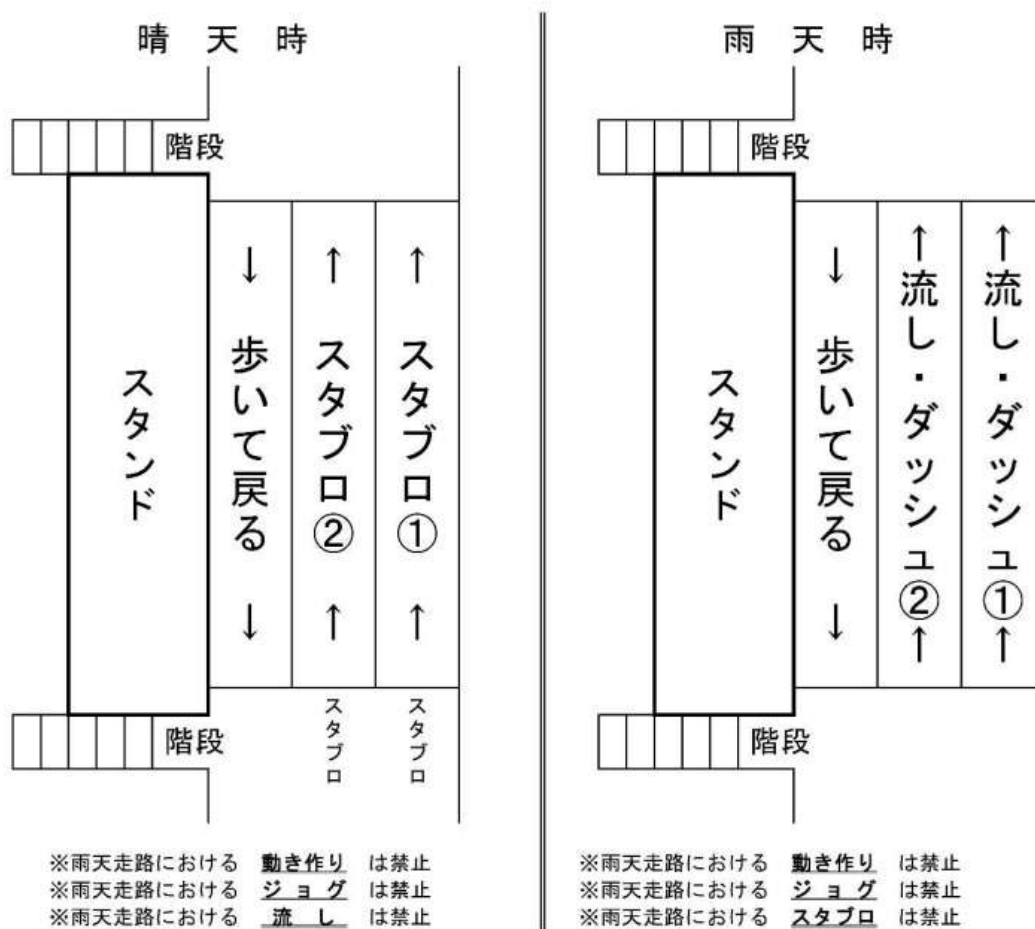
【晴天時】 備え付けのスターティングブロックを使用したスタート練習のみに使用する（使用可能な時間については以下の通り）。

・第1日目：11:00~12:00、13:00~14:00

・第2日目：10:30~12:15、13:00~15:00

・第3日目：9:45~12:30、13:20~14:00

【雨天時】 主催者の指示に従って安全に使用する。



(4) 女子 3000m、男子 5000m、男子 3000mSC、男女 5000mW の競技中においては、バックストレートの外側のレーンを利用してウォーミングアップをしてもよい。ただし、バックストレートを競技者が通過中は認めない。なお、最小限の人数・最小限の利用にすること。

(5) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。

14 応援について

- (1) 競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。また、正面スタンドは各学校の控え席とし、選手・生徒・学校関係者・競技役員以外の立ち入りを禁止する。
- (2) 保護者などの一般観戦者は土手面での応援とする。
- (3) 選手・生徒・学校関係者の応援は正面スタンドおよび土手面で行い、競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。
- (4) メガホンなどを使用した集団応援は禁止する。
- (5) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は注意すること。
- (6) 正面スタンド最前列での立っての応援を禁止する。

15 各校のベンチについて

- (1) 正面スタンドにおけるベンチについては、指定された場所に設営すること。また、荷物については競技終了後、必ず持ち帰ること。
- (2) 熱中症に十分に気を付けること。

16 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に関係する団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

＜観客席からの撮影制限＞

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。